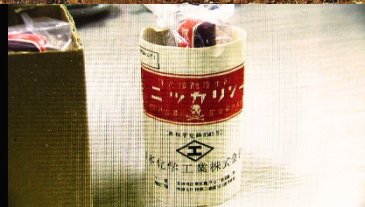


入場無料
予約不要

死刑を考える日 映画「眠る村」上映会



日時 2023年1月28日(土)

上映時間 ①10:20～ ②12:30～ ③14:40～

場所 せんだいメディアテーク 7階 スタジオシアター

(宮城県仙台市青葉区春日町2-1)

主催 仙台弁護士会 共催 日本弁護士連合会 東北弁護士会連合会

(お問い合わせ先) 仙台弁護士会 宮城県仙台市青葉区一番町2-9-18 (代表)TEL 022-223-1001



この事件は、おかしい

三重と奈良にまたがる葛尾。昭和36年、村の懇親会で女性5人が死亡した。ぶどう酒に混入した毒物による中毒死。事件から6日後、逮捕された奥西勝が犯行を認める。当時35歳。「妻と愛人との三角関係を清算するためだった」と自白した。すると不思議なことに、村人たちは奥西の犯行を裏付けるかのようにパタリパタリと証言を変えていった。

だが迎えた初公判、奥西は一転無罪を主張。自白は「強要されたものだ」と訴えた。一番は無罪。しかし二番では死刑判決、最高裁は上告を棄却。昭和47年、奥西は確定死刑囚となった。村人たちは事件が起きた公民館を取り壊し、奥西家の墓を掘り返して畑のなかへ追いやった。奥西は独房から再審を求め続けたが、平成27年10月、帰らぬ人となった。享年89歳。八王子医療刑務所で独り、無念の獄死だった。

『ヤクザと憲法』『人生フルーツ』の東海テレビが、昭和のミステリーを揺り起こす。

名張毒ぶどう酒事件——戦後唯一、司法が無罪からの逆転死刑判決を下したこの事件。57年が経った今もなお、多くの謎がある。決定的な物証の不在、自白の信憑性、二転三転した関係者たちの供述。そして、なぜ司法は頑なに再審を拒むのか。その謎に挑むのは、『ヤクザと憲法』『人生フルーツ』の東海テレビ放送。ナレーションはかつて奥西勝を演じた仲代達矢。平成最後の冬に放つ、渾身のミステリー。第66回菊池寛賞を受賞した『東海テレビドキュメンタリー劇場』第11弾。



www.ncmuru-mura.com fb.com/tokaidoc.movie @tokaidocmovie



～今、死刑について考える～

仙台弁護士会の「死刑を考える日 映画上映会」は、今年で第7回目となります。仙台弁護士会は、死刑制度が抱える人権上の問題を踏まえ、2021年2月、政府及び国会に対し、死刑制度を廃止すること、死刑制度が廃止されるまでの間、死刑の執行を停止することをそれぞれ求め、死刑制度廃止の実現に向けた取組を進める決意であることを決議しました。この映画は、死刑制度が、誤判・冤罪による生命侵害という取り返しのつかない危険を内包することを、強烈なインパクトをもって伝えようとするものです。皆様にとって、この映画上映会が、死刑制度について考えるきっかけとなれば幸いです。仙台弁護士会

せんだいメディアテーク

仙台市役所 ●	宮城県庁 ●
定禅寺通	仙台三越 ●
西公園通	東二番町通 ●
西公園通	愛宕上杉通
西公園通	●イオン仙台
西公園通	●フォーラス
西公園通	●青葉通
西公園通	●南町通
西公園通	●仙台弁護士会館

仙台駅